

白バラよこはま

No.40

平成22年1月発行

編集・発行

横浜市明るい選挙推進協議会
横浜市中区港町1-1 ☎045(671)3335

▶ 磯子まつり月間オープニングイベント



◀ 150周年記念植樹イベント 神奈川区



▶ 市長選・衆院選啓発みなとみらい盆踊り大会 西区



◀ 市長選・衆院選での街頭啓発の様子 旭区



目次

推進委員・推進員の心得、三ない運動	2
若年層意識調査から	3
各区今年度の事業から	4
横浜市今年度の事業から	22
リーダー研修会報告	25
横浜市長選挙・参院補欠選挙等の 区別投票率	26
各選挙における投票率	27
選管ホームページの紹介	28



横浜市の
選挙のマスコット

イコットちゃん

明るい選挙推進協議会推進委員・推進員の心得

～活動をしていく上での諸注意～

明るい選挙推進運動の目的は、選挙が公正に行われ、選挙を私たち国民の意見を確かに政治に反映させるものにし、民主主義の健全な発展を達成することです。

ここでは、明るい選挙推進運動を担う推進委員、推進員のみなさんが活動をしていく上で注意すべき事例について紹介します。

明るい選挙推進運動は、選挙を浄化するためにはじまったひとつの政治教育運動です。

したがって、特定の政党、政策、候補者を支持したり逆にそれらに反対したりする政治活動や選挙運動とははっきり区別されなければなりません。

次のような例はよく聞かれる質問です。

Q：特定の候補者の選挙運動員をしながら、その選挙の街頭啓発「ザ・イコット」に参加してもよいですか。

A：好ましくありません。明るい選挙推進運動は公平な第三者の立場で行う運動です。特定の候補者のための選挙運動をしながら、その選挙時の啓発活動に参加することは差し控えましょう。

Q：某候補は、明るい選挙推進運動の主旨を理解し、これに沿った選挙運動をしている人格者。明るい選挙推進員を続けながら、このような候補者がいることをこの候補者の推薦人になって知らせたいのですが。

A：明るい選挙推進員としての活動は、公正かつ不偏不党でなければなりません。どんなに高潔な方であっても特定の候補者の推薦人になることは避けましょう。

Q：投票日の午後になって、純粋な立場で「投票に行きましたか」と近所の家を回り、まだ行っていない人に投票に行くよう言って歩きたいのですが。

A：選挙のとき、個人的に啓発活動を行うことは、現行法上種々の誤解を生む恐れがあります。明るい選挙推進協議会では選挙時に街頭啓発を実施していますので、推進員はそちらに参加しましょう。

- 町内会などの集会への飲食代や品物の差し入れ
- お祭りへの寄附や差し入れ



- お中元やお歳暮などちょっとしたおみやげ



- 「贈らない」「求めない」「受けとらない」の三ない運動

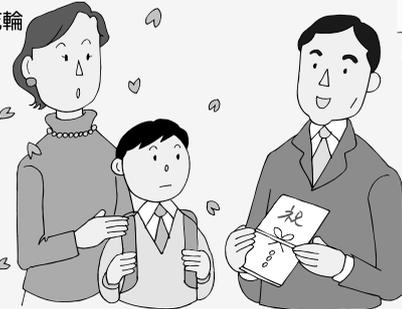
政治家の寄附は禁止 有権者の寄附要求も禁止

政治家が選挙区内にあるものに対して、ここに紹介されたようなことをすると処罰されます。

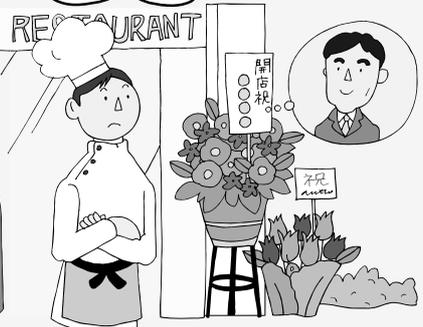
- 秘書などが代理で出席するお葬式の香典や花輪



- 地域の運動会やスポーツ大会への差し入れ



- 出産、入学、卒業、就職などの祝い金や品物



- 開店祝いなどの花輪や祝い金

～横浜市若年層意識調査から(抜粋)～

横浜市立高校生 約8,000人に政治や選挙に関する意識調査を実施

横浜市選挙管理委員会では、慶應義塾大学と共同で、将来の有権者となる高校生約8,000人を対象に政治や選挙に関する意識調査を実施しました。その結果の一部をご紹介します。

1. 調査目的

高校生の社会・政治の見方、またその情報を何から得ているかなど社会意識を探ることにより、他の世代と比べ投票率が低い若年層に対する啓発手法を研究し、中・長期的な視野にたった啓発事業を構築します。

2. 調査対象

横浜市立高等学校 9校 全生徒7,939人 (有効回収数 6,393 / 有効回収率 80.5%)

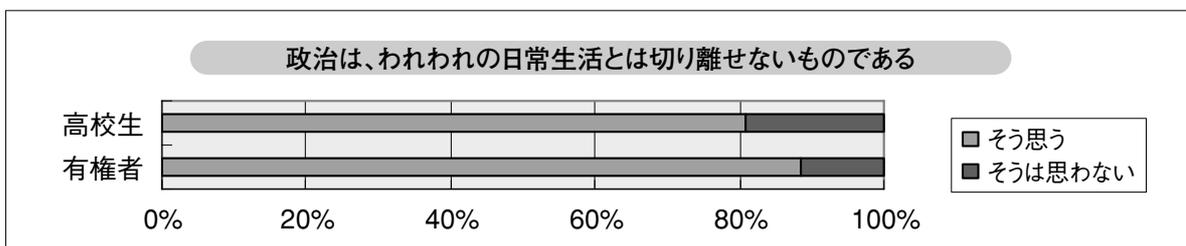
3. 調査時期

平成20年7月～9月

調査結果の主なポイント

1. 政治・選挙意識について

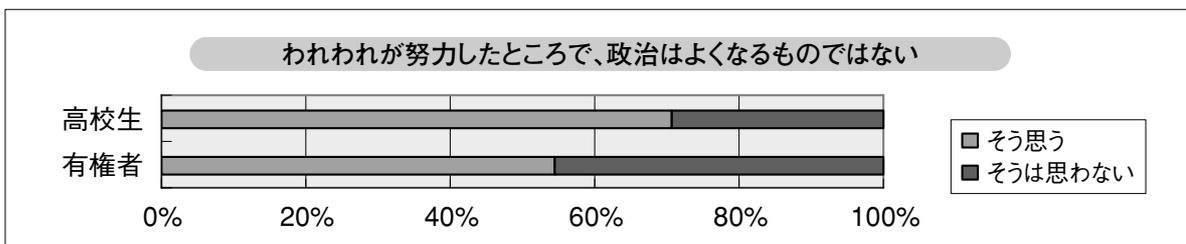
8割の高校生が政治の重要性を認識していることが明らかになりました。しかし、選挙や政治参加に対する設問では、有権者の調査結果より悲観的な回答が多くなっています。



●「政治は、われわれの日常生活とは切り離せないものだ」の意見に81.1%が同意

「非常にそう思う」(22.1%)と「まあそう思う」(59.0%)を合わせた『同意(計)』は81.1%となっている。一方、「あまりそうは思わない」(14.5%)と「全然そうは思わない」(4.4%)を合わせた『不同意(計)』は14.5%となっている。

※H19統一地方選挙時の有権者の調査結果では、『同意(計)』は83.4%、『不同意(計)』は10.9%



●「われわれが努力したところで、政治はよくなるものではない」の意見に70.6%が同意

「非常にそう思う」(26.2%)と「まあそう思う」(44.4%)を合わせた『同意(計)』は70.6%となっている。一方、「あまりそうは思わない」(23.5%)と「全然そうは思わない」(5.9%)を合わせた『不同意(計)』は29.4%となっている。

※有権者の調査結果では、『同意(計)』は50.2%、『不同意(計)』は41.9%

2. 政治についての情報源

政治についての情報源は、「テレビのニュース番組など」と回答した高校生が75.5%と他のメディアを圧倒しており、若年層の利用者が多いといわれている「インターネットや携帯サイト」は5.0%でした。

3. 選挙管理委員会の啓発活動に対する認知度

駅前大看板や横断幕、懸垂幕、ポスターなどの認知度が高いほか、有権者では0.2%の認知度だった携帯電話用のホームページは36.5倍にあたる7.3%の認知度がありました。

鶴見区

▼ 学生による選挙時啓発



▲ 推進員による選挙時啓発



今年度は、区内各地区の特性にあった啓発方法について、推進員が主体となって検討・実施にあたる活動が中心となりました。

6月29日に開催した地区代表者会議では、衆議院議員総選挙に向けた取組について協議するとともに、今年度の新規事業である推進員地区交流会について意見交換を行いました。

その後、7月中旬からは、地区代表者会議での話し合いを踏まえ、地区ごとに、衆議院選挙に向けた取組について検討を重ね、推進員が中心となって街頭啓発の実施計画を作成しました。この計画に基づき、8月には投票日の一週間前から、区内の延べ32箇所、各地区の実状に応じた街頭啓発を実施し、明るい選挙推進協議会関係者251名に加え、地元の子供20名が参加しました。

10月の参議院補欠選挙の際には、地区ごとで衆議院選挙の実施内容を振り返るとともに、各地区の実状にあった効果的な常時啓発方法について話し合いました。また、話し合いの内容を踏まえ、参議院補欠選挙に向けた街頭啓発の実施計画を作成し、それに基づき啓発活動を行いました。

その他にも、「鶴見川花火大会」への協賛、中学校生徒音楽会の後援、臨海フェスティバルに参加しての協議会のPR、推進委員・推進員あて「イコットNEWS」の発刊、小・中学校への「投票器材の貸出」等、様々な活動を実施しました。

● 常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
4月	推進委員総会(第1回)	20年度の事業報告を行うとともに、21年度の事業計画を審議した。
6月	地区代表者会議	衆議院選挙に向けた街頭啓発などの取組について協議するとともに、今年度の新規事業である「推進員地区交流会」について、意見交換を行った。
7月	地区内推進員打合せ会(第1回)	地区代表者会議での話し合いを踏まえ、各地区で衆議院選挙に向けた取組について、推進員主体で計画を作成した。
8月	鶴見川花火大会	鶴見川花火大会に協賛し、プログラムに選挙啓発文を掲載することにより、明るい選挙推進協議会のPRを行った。
10月	地区内推進員打合せ会(第2回)	効果的な常時啓発の方法について話し合うとともに、参議院補欠選挙に向けた街頭啓発の方法を検討し、実施計画を作成した。
	中学校生徒音楽会	区内の中学校生徒が参加する音楽会の会場で、明るい選挙推進協議会のPRを行うとともに、選挙啓発文を掲載したプログラムを配布し、将来の有権者への動機付けを図った。
11月	つるみ臨海フェスティバル	ブースを出し、似顔絵コーナーを開催した。また、似顔絵の台紙に選挙啓発文を掲載することにより、明るい選挙推進協議会のPRを行った。
1月	推進員地区交流会	各地区において推進員同士の交流会を開催し、「協議会活動の趣旨」の理解及び「自分の地区の投票率を上げるにはどうすれば良いのか」等を話し合うことにより、推進員としての意識の高揚、地区内推進員間のコミュニケーションを図った。
2月	推進員スキルアップ講座	推進員としてのさらなる意識の向上及び推進活動を進めていくにあたって、必要と思われる知識等の習得を図るため、桐蔭学園メモリアルアカデミー内にある横浜地方裁判所陪審法廷(移築・復元)を見学する。また、見学の感想を踏まえ、推進員間で協議会活動について意見交換を行う。
	せんきょフォーラム	選挙啓発と学習機会の提供を目的として、講師を招き、区内中学校で選挙に関する講演会を開催する。また、講演内容を踏まえ、将来の有権者に政治参加の動機付けを図るため、模擬投票を実施する。

開催月	事業名	事業内容
3月	明るい選挙推進大会・推進員会議	第1部に明るい選挙推進大会、第2部に推進員会議と、2部構成で開催する。第1部では、大会決議文の採択等を行う。続いて第2部では、推進員向けに選挙・政治等に関する講演会を開催する。
	推進委員総会(第2回)	21年度の事業報告を行うとともに、22年度の事業計画作成に向けた審議を行う。
随時	イコットNEWS発行	協議会の機関紙として、実施事業の広報や選挙結果の報告を中心に掲載、発行する。
	投票器材の貸出	区内の小・中学校に投票器材を貸し出し、将来の有権者への動機付けを図る。

● 選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
市長選・衆院選	街頭啓発「ザ・イコット」	各地区の推進員が作成した計画を基に、駅前、スーパー前、商店街など、延べ32箇所街頭啓発を実施。 延べ251名の明るい選挙推進協議会関係者と、20名の学生が参加した。
	自治会広報車による広報	投票日当日、自治会広報車を借りて区域内を巡回し、投票参加を呼びかけることで、投票参加のムードを盛り上げた。
参院補選	街頭啓発「ザ・イコット」	各地区の推進員が作成した計画を基に、駅前、スーパー前、商店街など、延べ32箇所街頭啓発を実施。 延べ250名の明るい選挙推進協議会関係者と、14名の学生が参加した。
	自治会広報車による広報	投票日当日、自治会広報車を借りて区域内を巡回し、投票参加を呼びかけることで、投票参加のムードを盛り上げた。

神奈川区

神奈川区明るい選挙推進協議会では、明るくきれいな選挙の実現と投票参加の促進を目指して啓発活動を行っています。

本年度の常時啓発は、若年層に向けた啓発事業と、選挙マスコット普及事業を柱に活動を行っています。

まず、若年層に向けた啓発事業として、区内小中学校を対象に生徒会選挙の手引きを送付するとともに、選挙器材の貸出を実施しています。

また、11月には、区内の小中学校からの依頼を受け、模擬投票と投票事務の体験授業を行いました。普段は投票に参加できない将来の有権者である子どもたちに投票参加の大切さをPRすることができました。

次に、マスコット普及事業として、選挙マスコットイコットちゃんの着ぐるみを着て、区内の各種イベントに参加しています。

7月に参加した「神奈川区民デー」では、イコットちゃんと啓発物品を配布し、10月の「神奈川区民まつり」では、投票参加の呼びかけを行うとともに、参加者とイコットちゃんの撮影会を行いました。また、同じく10月に参加した「横浜市開港150周年記念植樹イベント」では、区内小学校の児童に、イコットちゃんオリジナルタオルハンカチを配布し、イコットちゃんの認知度を高めました。

その他の活動として、12月16日に、浦島丘中学校にて「せんきよフォーラム」を開催しました。生徒や保護者を対象に、講師をお招きし、紛争国における選挙実態をテーマとした講演会を行いました。

選挙時啓発では、街頭啓発として、市長選、衆院選、参院補選において、8月22日から29日までの8日間、10月22日から24日までの3日間、区役所前や東神奈川サテライト前など、区内9か所でティッシュの配布を行い、区民に対して投票参加を呼びかけました。また、参院補選においては、先に、マスコット普及事業でも紹介しましたが、10月11日に開催された「区民まつり」の際に、イコットちゃんとの撮影会を行いながら、投票参加の呼びかけを行いました。

今後も明るくきれいな選挙の実現のため、各種活動に積極的に取り組んでいきます。



▲区内中学校での職業体験授業の様子

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
6月	若年層啓発事業	中・高等学校宛に「生徒会役員選挙の手引き」、小学校宛に「学級役員選挙の手引き」を送付。
7月	選挙マスコット普及事業	26日に横浜FC主催の「神奈川区民デー」に参加。ニッパツ三ツ沢球技場にて、選挙マスコット「イコットちゃん」の着ぐるみを着て、啓発物品を配布。
10月	選挙マスコット普及事業	11日開催の「神奈川区民まつり」に参加。投票参加の呼びかけを行うとともに、参加者とイコットちゃんとの撮影会を実施。
	選挙マスコット普及事業	14日、神奈川土木事務所開催の「横浜市開港150周年記念植樹イベント」に参加。イコットちゃんの着ぐるみを着て、マスコットPRを実施。
11月	若年層啓発事業	8日、神奈川中学校開催の「職業体験授業」に参加。投票参加の大切さをPRするとともに、模擬投票や投票事務の職業体験授業を実施。
12月	せんきよフォーラム	16日、浦島丘中学校にて、講師・倉石裕子氏を迎え、紛争国における選挙実態をテーマとした講演会を実施。
2月	明るい選挙推進大会	明るい選挙推進運動の事業報告を行い、あわせて記念講演を開催予定。
年間	若年層啓発事業	区内小中高等学校の生徒会等の選挙用に選挙器材を貸出。

●選挙時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
市長選・衆院選	街頭啓発「ザ・イコット」	東神奈川、大口、六角橋商店街など各9か所で啓発物品を配布。 参加者数：のべ66人
	区役所内啓発	区役所内に啓発看板、啓発懸垂幕を設置。 区役所内の各職場窓口で啓発物品を配布。 庁舎内モニター並びにYOUテレビを使用した啓発画像の放送。
	自治会町内会を経由した啓発	啓発ポスターを各自治会の自治会町内会掲示板に掲示。
参院補選	街頭啓発「ザ・イコット」	東神奈川、大口、六角橋商店街など各9か所で啓発物品を配布。 参加者数：のべ44人
	区役所内啓発	区役所内に啓発看板、啓発懸垂幕を設置。 区役所内の各職場窓口で啓発物品を配布。 庁舎内モニター並びにYOUテレビを使用した啓発画像の放送。
	自治会町内会を経由した啓発	啓発ポスターを各自治会の自治会町内会掲示板に掲示。

西 区

西区明るい選挙推進協議会では、明るくきれいな選挙の実現と、より一層の投票参加を推進するために、各種啓発活動を実施しています。

常時啓発活動としては、9月～12月にかけて中学校の生徒会選挙において、投票器材の貸し出しを行い、実際の選挙と同じ投票方法を採用しながら、選挙の方法や公正な選挙の実施についてアドバイスを行いました。また、せんきょフォーラムは、小学校を卒業する6年生の最後の給食のデザートの選挙を実施します。将来、有権者となる子どもたちに選挙の仕組みを楽しみながら学んでもらいます。

西区民まつりにおいては、イコットJr.との撮影会とせんきょクイズを実施し、楽しみながら選挙の大切さをPRしました。また、今年度の新規事業として、若いファミリー層への選挙啓発活動の一環で、子どもと一緒に参加できる「映画会」を開催し、パネル展や啓発物品の配布を行います。その他、2月には、委員・推進員の意識高揚並びに連帯を深めることを目的とした「明るい選挙推進大会」を開催します。



▲参院補選啓発(野毛山動物園前にて)

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成21年 9月～12月	学校の生徒会選挙等での実践啓発	中学校生徒会選挙に、実物の投票箱と記載台を貸出し、将来の有権者に対して選挙への意識の向上を図りました。
11月	西区民まつり	選挙マスコット＝イコットJr.との記念撮影や、せんきょクイズを実施して、選挙のPRを図りました。
11、1、 3月	明推協だより	推進委員・推進員の機関紙を発行。年3回。
平成22年 2月	明るい選挙推進大会	推進委員・推進員の意識高揚並びに連帯を深めるため開催し、明推協の活動報告等を行います。また、講演等を行い、選挙等への参加意識の向上を図ります。
2月	西区せんきょフォーラム	小学生やその保護者への選挙啓発を目的に、小学校を卒業する6年生の最後の給食のデザートの選挙を実施します。 於：宮ヶ谷小学校 参加者：宮ヶ谷小学校6年生生徒
3月	明るい選挙映画会	子ども向け映画の上映にあわせて啓発パネル展や啓発物品配布を行い、保護者への選挙啓発を図ります。

●選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
市長選・ 衆院選	街頭啓発 「ザ・イコット」	推進員の方々に協力を頂き、各地区の街頭を歩きながら啓発物品(ポケットティッシュや野菜の種)を配り、選挙啓発を図りました。
	みなとみらい大盆踊り	みなとみらいの臨港パークにおいて開催された盆踊り大会に、イコットJr.の着ぐるみを着て参加し、選挙啓発を図りました。
参院補選	街頭啓発 「ザ・イコット」	推進員の方々に協力を頂き、各地区の街頭を歩きながら啓発物品(ポケットティッシュ)を配り、選挙啓発を図りました。



▲西区民まつりにて

各区今年度の事業から

▼ 中学校生徒会選挙の様子



▲ 中区民祭り ステージイベント

中 区

中区明るい選挙推進協議会は、平成21年中に別表のとおり常時啓発事業と選挙時啓発事業を展開しました。

今年度は、6月に開港記念会館で開催された、中区横浜開港150周年記念事業「中区民デー・6月2日はジャックの日」をはじめとして、開港150周年に関連し、区内で実施された様々な記念イベントを活用した啓発活動を行いました。

また、将来の有権者である中区在学の小・中学生を対象に、本年度で29回目を迎える「明るい選挙推進作文コンクール」を実施しました。今年度の応募数は、前年度を上回る879通となり、優秀作品は区ホームページなどに掲載し、1月16日に開催された、中区選挙フォーラムにおいて表彰式を実施しました。

その他常時啓発についても、今年度より、中学校の出前講座や高校文化祭への参加等、更なる事業内容の充実を図りました。

● 常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
6月	明るい選挙推進大会・研修会	〈明推大会〉 推進員へ今年度の活動概要の説明をすると共に、「横浜開港150周年」をテーマに記念講演会を実施しました。 会場：産業貿易センタービル 参加者：約90人 〈研修会〉 推進大会に引き続き「横浜開港資料館」を見学し、横浜開港150周年に係る横浜、中区の歴史について、より理解を深めていただきました。
	横浜開港150周年記念「中区民デー・6月2日はジャックの日」	6月2日横浜開港記念日に開催された、「中区民デー・6月2日はジャックの日」にブースを出展しました。「わくわくウォークラリー「めいすいくんをさがせ」」とブースを題し、イベントに参加した次期有権者である小中学生とその保護者を対象にウォークラリーを実施しました。 会場：横浜開港記念会館 参加者：約170名
9月	中学校出前授業	9月29日に横浜市立本牧中学校にて生徒会選挙が執行され、投票前に「選ぶこと」の重要性をテーマに全校生徒の前で出前授業を実施しました。また、投票終了後には、生徒会選挙管理委員会との懇談会も開催され、活発な意見交換が行われました。
10月	高校文化祭への参加	10月3日に開催された横浜市立みなと総合高等学校「2009年みなと総祭」に模擬投票ブースを出展しました。当日は、約130名もの生徒が参加され、大盛況に終わりました。
	中区民まつりへの協賛（ハローよこはま）	毎年10月に開催される中区民祭りへの協賛、ウォークラリーの賞品として「米1俵＝1票」をかけ、お米券を提供しました。また、ブースを出展し「ドキドキ投票チャレンジ!!～マスコットNo.1を選挙しよう～」と題して、中区や横浜市、明推協の人気マスコットキャラクターの模擬投票を行い、約1,000人の方に参加していただきました。
11月	中学生職業体験	仲尾台中学校の生徒を対象に職業体験授業として、実際の選挙で使われる道具の説明や、開票体験等を実施しました。
1月	せんきょフォーラム	区民を対象に、地域の連帯感、政治参加意識の向上を図るため、前三重県知事であり早稲田

開催月	事業名	事業内容
通年	中学校職業体験（予定）	大学大学院教授である北川 正恭氏による講演会を開催しました。
	イコット通信発行	1月27日に横浜女学院の生徒を対象に職業体験授業を実施する予定です。
	作文コンクール	明るい選挙推進員への情報提供及び推進員の選挙啓発意識向上を目的とした機関紙を、年間3回発行しています。
年間	投票機械貸出	次代の有権者である小中学生を対象に、選挙や政治・社会について関心を持ってもらうことを目的として、作文コンクールを実施しました。今年度で29回目となる本事業は、前年度の応募数を78通上回る879通もの応募がありました。
		区内企業・事業所・学校等へ実際使用する投票機械の貸出をする等で、投票を身近に感じてもらいます。

● 選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
市長選・衆院選	街頭啓発「ザ・イコット」	今回の選挙啓発は本牧地区と伊勢佐木地区で、午前午後二部に分けて街頭での選挙時啓発用ティッシュの配布、投票への呼びかけを行いました。当日は、選挙管理委員、推進委員及び推進員約80名が参加しました。
参院補選	街頭啓発「ザ・イコット」	例年10月開催されている、「中区民祭り・ハローよこはま」へ参加し、ティッシュの配布、投票への呼びかけを行いました。

南区

南区明るい選挙推進協議会は、南区選挙管理委員会と連携し、「きれいな選挙」「積極的な投票参加」の実現を目指し、啓発活動を行っています。

例えば毎年、南区の夏の風物詩である「南まつり」において、選挙ブースを出展し、クイズコーナーを運営しています。また「区民文化振興事業」のコンサートや落語会、南区の春の一大イベントである「桜まつり」にも協賛して、パンフレットやポスター等に啓発標語などを掲載し、小学生から有権者の方まで幅広く呼びかけを行っています。

独自事業としては、8月中旬に「南区明るい選挙映画会」を開催しており、アニメ映画を上映し、会場には選挙で実際に使用される投票箱や記載台を設置しました。また、明推協だよりも年3回発行しています。

さらに、中学校の生徒会選挙が実施される際に、選挙器材の貸し出しを行い、実際に行われる選挙に近い生徒会選挙を中学生に体験してもらいました。

また、南区明るい選挙推進協議会のマスコットキャラクターの「まねっぎー」が掲載されたポケットカレンダーも作成、配布しています。

2月には南区明るい選挙推進大会を実施する予定です。南区明るい選挙推進大会では、推進員の皆さんが一同に集い、「きれいな選挙」「積極的な投票参加」の実現へむけた啓発活動を展開することを確認する契機としています。

また、3月に実施するせんきよフォーラムでは、一般の区民の方を対象に啓発講演会を行う予定です。



▲ 明るい選挙映画会
おじいちゃんと投票体験

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
6月、12月、2月	明推協だより	明推協の事業内容や活動報告を機関誌にまとめ、推進委員及び推進員などに年3回発行。
8月	南まつり	選挙ブースを出展、啓発パネルから答を導く選挙クイズを実施し、正解者に啓発物品を贈呈。
	明るい選挙映画会	若年層啓発を目的に、親子映画会を開催。「WALL・E」上映。
11月、1月	区民文化振興事業 各種コンサート等	南区恒例のコンサートなどに協賛し、配布物に啓発標語等を掲載。
12月	“まねっぎー”クリーン選挙PR事業	当協議会のマスコット“まねっぎー”と標語入りのポケットカレンダーを作成し、広く区民にきれいな選挙と積極的な投票参加を呼びかける。
2月	明るい選挙推進大会・研修講演会	明るい選挙の実現のため、推進委員・推進員が一堂に会し、大会及び研修講演会を開催。
3月	桜まつり	周知用チラシやポスターなどに啓発標語等を掲載し、協議会の名入り“ぼんぼり”を会場の大岡川沿いなどに掲げる。
	せんきよフォーラム	一般の区民の方を対象として、講演会を実施。
年間	選挙器材貸出	未来の有権者の選挙への関心を高めるため、生徒会選挙等へ器材を貸出している。

●選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
市長選・衆院選	街頭啓発「ザ・イコット」	真夏の商店街での啓発活動。啓発用ポケットティッシュを配布した。 実施日：平成21年8月23日 午後1時から4時まで 場所：弘明寺商店街および横浜橋通商店街 参加者：約50名
参院補選	街頭啓発「ザ・イコット」	秋らしくなった商店街で啓発活動。啓発用ポケットティッシュの配布やプラカードの掲出により投票日を呼びかけた。 実施日：平成21年10月18日 午後1時から4時まで 場所：弘明寺商店街および横浜橋通商店街 参加者：約40名



▲ 南まつり 大人気！選挙クイズ挑戦！

各区今年度の事業から

港南区

▼ せんぎょフォーラム(出前講演会)で話を熱心に聴く生徒の皆さん



▲ 明るい選挙推進大会における委嘱式の様子

港南区明るい選挙推進協議会は、本年度も「明るくきれいな選挙の実現」と「区民の積極的な投票参加の促進」を図るため、各種啓発事業を実施しております。

特に港南区では、将来の有権者である若年層への啓発事業に力を入れており、高校生向けに、区内2校の高校文化祭に選挙啓発ブースを出展し、出展場所である教室を実際の投票所に見立てたレイアウトにして、クイズを通じた模擬投票を体験していただきました。

また、中学生向けに、選挙や政治に関する話を分かりやすく伝える「せんぎょフォーラム(講演会)」事業を行い、本年度は落語家の講師を招いて横浜市立上永谷中学校において開催しました。

さらに、12月には、小さな子どもとその親を対象にした「港南区明るい選挙映画会」を港南公会堂で開催し、あわせて啓発物品の配布、パネルの展示、映画上映後の投票器材を用いたアンケート実施等を通じて啓発活動を行いました。

この他にも、年間を通じて、学校の生徒会選挙に投票器材の貸出しを行なうなどの事業を実施しており、港南区明るい選挙推進協議会は、今後も更なる内容の充実を目指して活動してまいります。

● 常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
6月	定例委員会	平成20年度の事業報告・決算及び平成21年度の事業計画・予算の審議を行いました。
	せんぎょフォーラム	次代の有権者である中学生を対象に、選挙や政治に対する理解・関心を深めてもらうため、落語家の林家うん平氏を招いて「明るい一票うれしい未来」と題した出前講演会を開催しました。
7月	明るい選挙推進大会	明るくきれいな選挙の実現と投票参加の促進を確認し、今後の協議会活動の結束と推進委員及び推進員の意識向上を図るため、式典及び講演会を開催しました。
9月	高校文化祭出展事業	近い将来有権者となる高校生を対象に、投票参加意識の向上を図るため、区内の高校文化祭に選挙啓発ブースの出展を行いました。(県立横浜南陵高校・県立永谷高校)
12月	明るい選挙映画会	20代及び30代を主な対象にした選挙啓発を図るため、親子で楽しめるディズニー映画「ウォーリー」の上映会を公会堂で行い、当日は、啓発パネルの展示や投票器材を用いたアンケートの実施などを行いました。
通年	明推協だよりの発行	推進委員及び推進員への情報提供を目的に、機関紙「明推協だよりの発行」を発行しています。(年3回)
	投票器材の貸し出し	区内学校の生徒会選挙の際に、投票器材を貸し出し、選挙の雰囲気を経験してもらい、若い世代に選挙をより身近に感じてもらう取り組みを行っています。

● 選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
市長選・衆院選及び参院補選	街頭啓発「ザ・イコット」	通勤・買い物客などで賑わう区内主要3駅周辺において、推進委員及び推進員が啓発物品(ポケットティッシュ)を配布しながら、選挙の周知と投票参加を呼びかけました。
		<p>【市長選・衆院選】</p> <p>実施日：平成21年8月22日(土)</p> <p>場所：京浜急行「上大岡駅」周辺 JR「港南台駅」周辺 市営地下鉄「上永谷駅」周辺</p> <p>参加者：90名</p> <p>【参院補選】</p> <p>実施日：平成21年10月17日(土)</p> <p>場所：京浜急行「上大岡駅」周辺 JR「港南台駅」周辺 市営地下鉄「上永谷駅」周辺</p> <p>参加者：94名</p>
	電光掲示板による啓発	戸籍課の電光掲示板及び庁舎内自動販売機の電光掲示板を利用して、期日前投票と投票日の周知を行いました。
	公用車による選挙PR	通常業務で使用する車両に、投票日を周知するシールを貼り、あわせて選挙PRテープを走行中に放送して、広く有権者に呼びかけを行いました。

保土ヶ谷区

保土ヶ谷区明るい選挙推進協議会では、「明るくきれいな選挙の実現」と「投票参加の促進」を図るために、様々な啓発活動を展開しています。

今年度は9月19日に、区内の高校生、大学生が演奏を競う「保土ヶ谷バンドバトル」を保土ヶ谷区青少年指導員協議会と共催し、選挙クイズや優勝者を決める投票など実際の選挙器材を使って、若年層への選挙啓発を実施しました。

11月29日には映画会「ウォーリー」上映し、子どもとともに来場した保護者の方々に、明るい選挙の推進と投票総参加を呼びかけました。また、実際の選挙に使用する投票箱や記載台を用いて「選挙クイズ」を実施し、家族で楽しみながら選挙について学んでもらえる選挙啓発も行いました。

1月30日には、「保土ヶ谷区明るい選挙推進大会・講演会」を開催します。推進委員・推進員の意識高揚を図るとともに相互の連携を深め、併せて選挙啓発に関する講演を実施します。講師に日本テレビ「ズームイン!!SUPER」でニュースの解説をされている橋本五郎さんを迎え、これからの政局の行方について講演をしていただく予定です。

2月の「せんきよフォーラム」は区内の中学校へ出向き、将来の有権者となる若者を対象に、選挙に対する意識向上を図ります。その他に年間を通して中学校等に投票器材を貸し出し、投票行為に親しんでもらっています。今後も「明るい選挙と投票総参加」、「きれいな選挙の実現」を目指して活動していきます。

▼バンドバトルで熱唱する参加バンド



▲衆院選で投票参加を呼びかける推進員さん

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
9月	保土ヶ谷バンドバトル	学生を出演者とした、演奏を競う催しを保土ヶ谷区青少年指導員協議会と共催しました。優勝者の決定については模擬投票から開票まで実際に使用される器材を使用し、選挙啓発への関心を高めてもらいました。
11月	明るい選挙推進大会	大人も楽しめる、子ども向けの映画「ウォーリー」を上映し、子どもとともに来場した保護者に、明るい選挙の推進と投票参加を呼びかけました。
1月	明るい選挙推進協議会・講演会	明るい選挙の推進に向けて、推進委員、推進員及び区民の意識高揚を図ります。また講演会を開催して選挙への興味、関心を高めてもらいます。
2月	せんきよフォーラム	将来の有権者となる若者を対象とし、区内の中学校へ出向き、政治や選挙について生徒の意識向上を図ります。
年間	選挙クイズ大会	保土ヶ谷区明るい選挙推進協議会のイベント開催時に選挙クイズ大会を実施して、有権者に明るい選挙と投票参加を呼びかけます。(2回予定)
	選挙用器材の貸出し	区内中高校の生徒会等の選挙に器材を貸し出し、投票行為に親しんでもらいます。
年4回	「明推協だより」発行	推進委員、推進員の機関紙を発行します。

●選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
市長選・衆議選	街頭啓発「ザ・イコット」	6駅1商店街で街頭啓発を実施し、大勢の乗降客や買い物客に投票参加を呼びかけました。 日時：平成21年8月21日(金) 17時～ 場所：天王町サティ店頭、相鉄線星川駅、JR保土ヶ谷駅他4駅 参加人数：121人
参院補選	街頭啓発「ザ・イコット」	ほどがや区民まつりの会場となったへそ広場と、6駅1商店街で街頭啓発を実施し、大勢の乗降客や買い物客に投票参加を呼びかけました。 日時：平成21年10月17日(土) 11時～ 場所：へそ広場(区民まつり会場) 日時：平成21年10月19日(月) 17時～ 場所：天王町サティ店頭、相鉄線星川駅、JR保土ヶ谷駅他4駅 参加人数：123人



▶映画会での選挙クイズのようす

各区今年度の事業から

旭区

▼ 旭区明るい選挙推進大会(委嘱式)



▲ 親子ふれあいミニシアターの様子

旭区明るい選挙推進協議会では、今年も「明るくきれいな選挙の実現」と「区民の投票参加の促進」を図るため、各種事業を実施しています。

今年度は、四月に推進委員及び推進員の改選がありました。六月の「旭区明るい選挙推進大会」では委嘱式を行い、協議会の運営方針を約四百四十名の推進員とともに確認しました。

七月には恒例の竹製啓発うちわを作成し、区内で開催された「道の日キャンペーン」などで配布しました。

十二月の「親子ふれあいミニシアター」では、子ども向け映画の上映前に、着ぐるみキャラクターが多数登場するミニイベントを行い、家族で楽しみながら選挙についての理解を深めました。

二月には「旭せんきょフォーラム」を実施し、未来の有権者である小学生を対象とした模擬投票を行う予定です。

選挙時啓発としては、区内の駅頭や区民まつりにおいて「ザ・イコット」を実施し、ポケットティッシュなどの啓発物品を配布しながら投票参加を呼びかけました。

「企画検討委員会」では、推進員の活動を一歩踏み込み、具体的な選挙啓発を検討し実行しています。他にも、学校等に投票器材や選挙運動物品の貸出しを行うなど、旭区明るい選挙推進協議会は、これからも引き続き、さまざまな啓発活動を推進していきます。

● 常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
6月	明るい選挙推進大会	今年度は推進員の改選年にあたるため委嘱式を行い、事業説明をするともに、横浜市選挙管理委員会事務局よりご講演いただき、推進員としての意識の高揚を図った。
7月～	啓発うちわの配布	選挙マスコットキャラクターを掲載した竹製うちわを作製。地域の夏祭り会場や区役所窓口及び選挙時啓発で配布し、選挙啓発を行った。
8月	道の日キャンペーンへの参加	旭土木事務所主催のキャンペーンに推進員が中心となり参加し、選挙への投票参加の呼びかけを図った。
12月	親子ふれあいミニシアター	子ども向けの映画を上映し、子どもとともに来場する保護者等の若い有権者を対象に選挙啓発を実施。 ・会場：旭公会堂 ・参加人数：約420名
平成22年2月予定	旭せんきょフォーラム	未来の有権者である小学生を対象として、身近な話題をテーマにした模擬投票を行い、選挙に対する理解・関心を深める。3校を予定。
年間	企画検討委員会	明推協事業の実施について、運営方法や新たな啓発活動について企画・検討し、各イベントにおいては運営を行う。
	生徒会選挙物品及び投票器材の貸出	区内の各学校等に対し、選挙運動用のぼり旗・腕章等の選挙物品及び投票箱・記載台の貸出しを行う。
年3回	イコット通信	推進委員・推進員への情報提供・交流の場を目的とした機関紙「イコット通信」を発行する。年3回。

● 選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
市長選・衆院選	街頭啓発「ザ・イコット」	各地区の推進員及び選挙管理委員会が、啓発物品(ポケットティッシュ)及び啓発うちわを配布しながら投票参加を呼びかけた。 ・実施日：8月19日(水) ・場所：相鉄鶴ヶ峰駅、二俣川駅、希望が丘駅、南万騎が原駅 ・参加者：約80名
参院補選	区民まつりでの街頭啓発	多くの区民で賑わう区民まつり会場において、啓発物品(ポケットティッシュ)を配布しながら投票参加を呼びかけた。 ・実施日：10月18日(日) ・場所：旭区民まつり会場 ・参加者：約10名
	街頭啓発「ザ・イコット」	各地区の推進員及び選挙管理委員会が、啓発物品を配布しながら投票参加を呼びかけた。 ・実施日：10月21日(水) ・場所：相鉄鶴ヶ峰駅、二俣川駅、希望が丘駅 ・参加者：約40名



▶ 道の日キャンペーンでの街頭啓発の様子

磯子区



▲ 磯子まつり月間オープニングイベント

磯子区明るい選挙推進協議会では、明るくきれいな選挙の実現と投票率の向上を目指し、各種啓発事業を実施しています。

常時啓発では、若年層に向けた啓発事業として、将来の有権者である小・中・高校生を対象に「磯子区を元気にする標語・選挙標語募集事業」を実施し、応募作品の展示会を区庁舎区民ホールで行うほか、優秀作品の表彰及び作品を活用した啓発物品の作製を行います。

8月と10月にあつた選挙では、磯子駅等のJRの4駅において、それぞれ投票参加を呼びかける街頭啓発を行い、延べ約100名の推進員さんが参加されました。

また、9月27日には、磯子まつり月間オープニングイベントにおいて、啓発物品を配布しながら参議院補欠選挙への投票を呼びかけました。

本年2月には、推進員相互の連帯と意識高揚を図るため「明るい選挙推進大会」を開催し、あわせて推進員研修を行う予定です。

このほか、3月には、若年層の投票率の向上を図るため、区内の中学生を対象に「せんきよフォーラム」を開催する予定です。

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
7～2月	明るい選挙標語募集事業	小・中・高校から「磯子区を元気にする標語・選挙標語」を募集。すべての応募作品を区庁舎内で展示するとともに、優秀作品を選定し表彰を行うほか、入選作品を活用して啓発物品を作製する。
9月27日	磯子まつり月間オープニングイベント	啓発物品を配布しながら参議院補欠選挙への投票を呼びかけた。 ・会場 磯子区総合庁舎
22年2月	明るい選挙推進大会(推進員研修)	明るい選挙推進運動の一層の充実を図るため開催。また、講演会をあわせて行い、推進員の意識高揚を図る。 ・会場 磯子区総合庁舎 ・講師 未定
22年3月	せんきよフォーラム	若年層の投票率の向上を図るため、区内中学校の生徒を対象に開催する。 ・会場 区内中学校
通年	生徒会選挙用物品・投票器材の貸出し	区内の学校で行われる生徒会選挙等に際し、選挙運動用物品や投票器材の貸出しを行う。
通年	明推協だよりの発行	推進委員・推進員の機関紙を発行。年3回



●選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
市長選・衆議選	街頭啓発「ザ・イコット」	磯子駅等のJRの4駅において、投票参加を呼びかける街頭啓発を行った。 日時：平成21年8月26日(水) 16時30分～ 場所：JR磯子駅他3駅 参加人数：62人
参院補選	街頭啓発「ザ・イコット」	磯子駅等のJRの4駅において、投票参加を呼びかける街頭啓発を行った。 日時：平成21年10月21日(水) 16時30分～ 場所：JR磯子駅他3駅 参加人数：47人



▲ 参院補選街頭啓発

金沢区



▼▲ 横浜市立大学学園祭



金沢区明るい選挙推進協議会では、啓発活動をより活性化、発展させていくために、企画運営部会を設置し様々な事業を企画・検討しています。本年度は「若い世代に選挙について関心を持って頂くこと」を主な目的として活動することになり、数多くの企画案の中から「明るい選挙親子映画会」や「横浜市立大学学園祭ブース出展」、「ベイサイドマリナー、アウトレットパークでの啓発物品の配布」といった若い世代が集まる場所での事業をより弾力的に実施することになりました。

事業目的を効果的に行った企画例として、9月末に区内親子を対象とした「明るい選挙親子映画会」では、うるまでるびの選挙啓発DVDを映画上映前に放映し、裏面に金沢区選挙マスコット「いこあら」のぬり絵を印刷した選挙啓発チラシや「いこあら」のイラスト入りウエットティッシュ、うるまでるびのDVDを共に参加者に配布しました。大人だけではなく、将来の有権者である子供達にも、選挙の大切さを認識して頂く啓発活動となりました。

この他に富岡中学校、金沢中学校において「せんぎょフォーラム」を開催し、中学生の政治・選挙に対する意識向上を図る等、今後も積極的な啓発活動に取り組んでいく予定です。

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
4月	企画運営部会 (事業検討会)	当協議会の活動の活発化を図るため、21年度の事業について意見交換を行った。
6月	定例会	20年度事業報告と21年度事業計画を審議した。
9月	明るい選挙親子映画会	ディズニー映画「ウォーリー」を上映し、あわせて、啓発ビデオの上映、啓発物品及びチラシの配布を行った。 場所：金沢公会堂
10月～11月	横浜市立大学学園祭ブース出展	横浜市立大学構内にブースを設置し、選挙クイズやゲームを行い啓発物品を配布した。
平成22年 1月～2月	明るい選挙クイズ	「広報よこはま」金沢区版に、選挙に関するクイズを掲載し、正解者に抽選で賞品を贈呈する。
2月	明るい選挙推進大会	式典及び、記念講演会を開催する。式典では推進員の委嘱式及び、決議文の採択を行う。 記念講演会は、一般区民の参加が可能なものとする。 場所：金沢公会堂
3月	せんぎょフォーラム	将来の有権者である中学生を対象に、講演会を開催する。 場所：富岡中学校、金沢中学校
	推進員研修会	推進委員・推進員を対象に、政治や選挙に関する施設を見学する研修を行う。
年間	選挙器材貸し出し	区内の学校で行われる生徒会役員選挙等に際し、選挙器材の貸し出しを行う。

開催月	事業名	事業内容
年間	ベイサイドマリナー、アウトレットパークでの啓発物品の配布	金沢区選挙マスコット「いこあら」のイラスト入りウエットティッシュを施設内にて配布した。
7月、9月、平成22年 1月、3月	明推協にゆうす	推進委員・推進員の機関紙を発行する。 年4回



●選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
市長選・ 衆院選	街頭啓発 「ザ・イコット」	推進委員・推進員が啓発物品を配布しながら投票日の周知と投票参加の呼びかけを行った。 実施日：8月20日(木) 場 所：イトーヨーカドー能見台店 参加者：16人 実施日：8月24日(月) 場 所：ダイエー金沢八景店 参加者：15人
参院補選	街頭啓発 「ザ・イコット」	実施日：10月17日(土) 場 所：海の公園(区民まつり「いきいきフェスタ」会場内) 参加者：13人

港北 区

▼『港北ふれあいまつり』の様子



▲ 地区ブロック別研修(日吉地区)

港北区明るい選挙推進協議会では、区民のより一層の選挙・政治意識の向上を目的に各種事業を行っています。特に今年度は、横浜市長選挙・衆議院議員総選挙、参議院議員補欠選挙にあわせて区内各地で積極的な啓発運動等を実施しました。

4月には、港北区明るい選挙推進大会を実施しました。記念講演会ではNHK解説委員である島田敏男氏を講師に招き、推進員の皆様等が多数参加する中、政治・選挙についてより一層の意識啓発を行いました。

7月には、推進員の相互交流と意見交換の場である『地区ブロック別研修』を区内3地区において実施しました。研修では活発な議論が交わされたことで、間近に控えた選挙への意識が高まり、連帯が深まりました。

市長選・衆院選に合わせた選挙時啓発では、区内全域でティッシュペーパーの他、啓発標語の書かれたうちわを配布しました。

参院補選前には、家族連れが多く訪れる『港北ふれあいまつり』において明推協ブースを設置しました。推進員の皆様に参加し、子育て世代へ投票参加を呼びかけました。

1月には『せんきょフォーラム』として、将来の有権者となる中学生を対象にした講演会を実施し、選挙への関心呼びかけました。今後は施設見学会や親子映画会を予定しており、引き続き企画検討委員会をはじめ、推進員の皆様の積極的な参加と相互協力のもと事業を進めていきます。

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
4月	港北区明るい選挙推進大会	推進員が一堂に会し、きれいな選挙と投票総参加の実現を目指した推進運動を引き続き展開していくことを確認した。
5月	港北区明るい選挙推進協議会及び地区代表会議	推進委員が参加し、平成20年度の港北区明るい選挙推進協議会の事業報告及び平成21年度の事業計画を審議するため開催した。地区代表会議においては、啓発物品配布の協力と地区ブロック別研修の開催等を呼びかけた。
7月～8月	明るくきれいな選挙の普及啓発事業	啓発標語等を周知するため、啓発物品を作成した。今年度はうちわを作成。地域の夏祭り等イベントで配布した。
9月～12月	投票器材貸し出し事業	中学校・高等学校の生徒会選挙の際に選挙道具を貸し出し、選挙の雰囲気を感じてもらい、若い世代に選挙への関心を高めた。
1月	せんきょフォーラム	若年層の選挙への意識を高めるため、区内の中学校に講師を派遣する、いわゆる「出前」形態のフォーラム事業を実施した。
2月	施設見学会	政治や選挙に関連した施設などの見学を行い、推進員としての政治や選挙に関する理解を一層高める。
3月	明るい選挙親子映画会	子供に人気の映画会を開催し、子供とその家族を対象に選挙啓発と明推協のPRを行う。
5月～2月	企画検討委員会	明るい選挙推進運動事業の企画について、推進員の代表が会議を持って検討する。

開催月	事業名	事業内容
5月～3月	地区ブロック別研修	地区ごとに開催し、政治・選挙や各地区における啓発活動について意見交換を行うことにより推進員としての自覚を高め、各地区明推協活動の活性化を図る。
6月～3月	港北区イコット通信	明推協の機関紙として年4回発行し、推進員への啓発を図ると共に事業の案内や結果報告等を行う。

●選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
市長選・衆院選	街頭啓発「ザ・イコット」	公用車を利用した選挙PR 区内の13連合町内会の区域ごとに駅前や商店街等を拠点に啓発物品を配布しながら投票参加の呼びかけを行った。 参加人数：約230名
	公用車を利用した選挙PR	通常業務で使用する車両に、選挙の啓発シールを貼ることで区民に投票日の周知をした。
参院補選	街頭啓発「ザ・イコット」	区内の13連合町内会の区域ごとに駅前や商店街等を拠点に啓発物品を配布しながら投票参加の呼びかけを行った。 参加人数：約230名
	公用車を利用した選挙PR	通常業務で使用する車両に、選挙の啓発シールを貼ることで区民に投票日の周知をした。
	区民まつりブース出店	区民が多数参加するイベントに参加し、チラシ等を配り選挙期日の周知を図った。同時に明推協事業のPRを行った。

各区今年度の事業から

緑区

▼ 街頭啓発「ザ・イコット」



▲ 夏休み子ども映画会での模擬投票の様子

緑区明るい選挙推進協議会では、明るくきれいな選挙の推進と投票参加意識の向上を目指して、将来の有権者である若年層に対する啓発を含め、さまざまな啓発活動に取り組んでいます。

選挙時の啓発にあたっては、推進委員・推進員・選挙管理委員等の協力により中山駅、鴨居駅、長津田駅、十日市場駅の四駅において、街頭啓発活動「ザ・イコット」を実施し、投票参加を呼びかけました。

常時啓発活動としては、「夏休み子ども映画会」を八月に開催しました。映画上映と併せ、「選挙クイズ」や実際の選挙に使用する投票箱や記載台を用いて「模擬選挙」を実施し、家族で楽しみながら選挙について学んでいただきました。

十月に実施された「緑区民まつり」では、明るい選挙推進協議会の活動を区民にPRし、目前に迫った参議院議員補欠選挙への投票参加を呼びかけました。

そのほか、中学生を対象とした「せんきよフォーラム」や「緑区明るい選挙推進大会」の開催、イコット通信の発行や各種研修会への参加など、今後も協議会組織の連携を図り、推進活動の活性化と明るい選挙を推進していきます。

● 常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
8月18日	夏休み子ども映画会	実際の投票箱と記載台を使用して「模擬選挙」や「選挙クイズ」を実施し、疑似投票体験等を通して選挙への関心を高めた。また、啓発パネルの展示等も行った。 上映作品：「ケロロ軍曹3」 会場：緑公会堂
9月28日	せんきよフォーラム	将来の有権者である中学生を対象に、選挙や政治についてのパフォーマンス観賞、模擬生徒会選挙など楽しみながら学んでもらう生徒参加型のイベントを実施した。
10月18日	緑区民まつり	明るい選挙推進協議会活動のPR展示のほか、参加型ゲームなどを行いながら来場者に啓発物品や啓発チラシを配布し、明推協のPR活動を行った。 会場：四季の森公園
3月(予定)	明るい選挙推進大会	明るい選挙の実現と投票参加運動の推進を確認し、今後の協議会活動の結束と推進委員、推進員の知識向上を図る。
年間	投票器材等の貸し出し	区内の学校で行われる生徒会等選挙に対し、選挙器材及び選挙用品の貸し出しを行う。
年4回	明推協プロジェクト会議	推進員によるプロジェクトメンバーが主体となって、緑区明推協事業の効果的な啓発活動の方策を検討。
年4回	イコット通信	推進委員、推進員を対象に明推協事業の計画や報告等を掲載した機関紙を発行。

● 選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
市長選・衆院選	街頭啓発「ザ・イコット」	区選挙管理委員・推進委員及び推進員が参加し、買い物客などでぎわう区内4駅で啓発物品の配布を行い、選挙の周知と投票参加を呼びかけた。 日時：8月25日(火) 参加者：60人
参院補選	街頭啓発「ザ・イコット」	区選挙管理委員・推進委員及び推進員が参加し、買い物客などでぎわう区内4駅で啓発物品の配布を行い、選挙の周知と投票参加を呼びかけた。 日時：10月20日(火) 参加者：50人



▲ 区民まつりで明推協のブースに集まる子ども達

青葉区

▼ 映画会の様子



▲ 区民まつりの様子

今年の青葉区明るい選挙推進協議会は、6月に平成21年度の活動方針を決定することからスタートしました。

8月30日に横浜市長選挙、横浜市議会議員青葉区選挙区補欠選挙、第45回衆議院議員総選挙が、10月25日には参議院神奈川県選出議員補欠選挙が実施されました。

急ぎよ決まった選挙でありながら、投票参加を向上させるため、多くの推進委員、推進員が街頭啓発活動に参加しました。

常時啓発活動では、11月3日に実施した区民まつりにおいて、明るい選挙推進協議会の活動PR・選挙クイズ・フランクフルト販売などを実施しました。

青葉区の選挙マスコット「えら坊」も一役買って、会場に訪れた多くの人々にPRできました。

また、12月には、若い世代を対象とした明るい選挙推進映画会を実施したほか、小学校での選挙出前授業も実施しました。

その他、会報「あおばイコット通信」について、推進員が自主的に紙面の見直しを行い、より内容の濃いものが発行できました。

今年度は、推進委員・推進員が更に積極的に参加することができ、より青葉区らしい活動になっています。

なお、青葉区明るい選挙推進協議会はこうした自主的な活動が認められ、選挙制度120周年記念選挙関係功労者に対する「総務大臣感謝状」を受けました。

● 常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
11月3日	区民まつり	多くの区民が集まる青葉区民まつりに明推協ブースを出展し、選挙クイズを取り入れたフランクフルトの販売・選挙に関するアンケート・展示などを行い、選挙啓発を行う。 会場：区役所駐車場
12月12日	青葉区明るい選挙推進映画会	ディズニー・ピクサー映画「ウォーリー」を上映し、あわせて、啓発ビデオの上映、啓発パネルの掲示、啓発リーフレットの配布を行う。ステージには青葉区選挙マスコットえら坊が登場し、参加者にはえら坊グッズを配布する。 場所：青葉公会堂
12月～2月	せんきょフォーラム	「選挙出前授業」として、区内小中学校で選挙に関する出前授業を実施する。
年間	企画運営チーム会議	推進員の有志で構成されたチームが、明推協事業の実施に際して、効果的な実施方法の検討などを行う。
	投票器材の貸出	選挙についての理解を深め、親しみを持てるよう、区内の小・中・高校等に投票箱、記載台などを貸し出す。また、要望がある場合には職員が出向き選挙制度の説明を併せて行う。
	メディアへのPR	啓発事業を実施する際に、メディアへの情報提供を積極的に行い、記事に取り上げてもらうことで効果的な周知に努める。
年3回	イコット通信の発行	明推協の推進委員・推進員の手により、明推協の各種事業紹介や報告などを掲載した、推進委員及び推進員向けの機関誌を発行する。

● 選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
市長選・市議補選・衆院選	街頭啓発「ザ・イコット」	通行人に啓発物品(ポケットティッシュ・啓発チラシ)を配布しながら、投票日の周知、投票参加を呼びかけた。啓発には、青葉区選挙のマスコット「えら坊」の着ぐるみも登場してPRを行った。 ★実施日時・場所・参加者数 ①平成21年8月22日(土) 午後3時～5時 あざみ野駅 参加者66名 ②平成21年8月23日(日) 午後3時～5時 青葉台駅 参加者64名
	参院補選	街頭啓発「ザ・イコット」

各区今年度の事業から

都 筑 区

▼ 明推協推進大会での委嘱式



▲ 地域イベントでの選挙時啓発（渋沢地区協議会）

この他にも「未来の有権者育成事業」として区内の小学校、中学校及び高等学校へ呼びかけ、投票器材の貸し出しを実施したり、ホームページにより明推協活動の広報を行っています。これからも地域に密着した啓発活動を展開することで、着実な成果を上げていきたいと考えています。

11月の区民まつりではパソコンやパネルによる「選挙クイズ」、選挙マスコットの「イコットちゃん」とじゃんけん大会やインスタントカメラによる記念撮影などを行い、子ども連れの有権者に大人気でした。

補欠選挙では、区役所と今回から開設した「ららぽーと横浜」で、期日前投票所の運営に携わりました。商業施設内で期日前投票が可能となり、全国的にも注目される結果となりました。また各地域でも駅頭や地域イベントで投票参加を呼びかけるなど、啓発活動に取り組みました。

また、地区協議会活動をアピール出来るよう、昨年に引き続き選挙啓発用「のぼり旗」を購入し、運動会や祭りなどにあわせて明推協のPRや投票参加の呼びかけに力を入れました。

都筑区は、6月に推進員の任期交代による委嘱式を行い、併せて「有権者の投票行動と明推協の役割について」というテーマで有権者、特に若年層に対する啓発活動の重要性について研修を実施しました。

● 常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
5月8日	都筑区明るい選挙推進協議会会議	推進委員の役員改選を行うとともに、平成20年度の事業報告及び決算と平成21年度事業計画を決定しました。
6月1日	明るい選挙推進大会	明るい選挙の実現及び投票参加の推進を確認するため、本年度新たに委嘱された推進員に向けた「有権者の投票行動と明るい選挙推進協議会の役割」のテーマで選挙係長の講演を行いました。 参加者：120人
11月3日	投票にイコット(区民まつり参加啓発)	都筑区民まつりにおいて明推協のコーナーを設け、イコットぬいぐるみとのじゃんけんゲーム、写真撮影や「パソコン」と「選挙啓発パネル」による選挙クイズなどを通じて、選挙啓発及び明推協のPRを行いました。 場所：都筑区役所周辺
2月予定	都筑区せんきょフォーラム(兼推進委員・推進員研修会)	本市の推進委員・推進員を対象に市選管と明治学院大学と共同で実施した意識調査の結果をふまえ、投票率の向上に向けた啓発推進の糸口を探るフォーラムを開催する予定です。 本年度は地区研修会を全体研修会として実施します。
通年	「明推協だより」の発行	都筑区連合町内会に「明推協だより」の回覧を依頼し、より多くの人に明推協の活動をアピールする予定です。
	未来の有権者育成事業	選挙についての理解を深めるため、区内小、中学校及び高等学校に選挙運動用たすき、のぼり旗、腕章、投票箱、記載台などの貸出しを行っています。
	明推協PR事業	ホームページの更新、ジョイントPR等を通じて明推協のPRをしています。
	地区協議会企画事業	14地区協議会で企画した啓発事業を展開します。本年度は昨年度に引き続き「のぼり旗」120本を追加製作し地域イベントなどに活用して、積極的な投票参加の啓発活動に取り組んでいます。

● 選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
市長選・衆院選	地区啓発活動	地区の夏祭りなどで啓発グッズを配布し、選挙の周知と投票参加を呼びかけました。
	街頭啓発「ザ・イコット」	市営地下鉄「センター北」駅の駅頭でプラカード、啓発グッズや啓発チラシを配布し選挙の周知と投票参加を呼びかけました。(地区協議会自主活動) 期日：8月20日(木) 参加者：24人
	期日前投票所運営	「ららぽーと横浜」そばの街頭で啓発グッズを配布し選挙の周知と投票参加を呼びかけました。(地区協議会自主活動) 期日：8月20日(木) 参加者：5人
	期日前投票所運営	期日前投票所の投票管理者・投票立会人となり、投票率向上に努めました。
参院補選	地区啓発活動	地区の体育祭などでプラカードや啓発グッズを配布し、選挙の周知と投票参加を呼びかけました。
	期日前投票所運営	期日前投票所の投票管理者・投票立会人となり、投票率向上に努めました。



▲ 区民まつりでの選挙クイズとじゃんけん大会

戸塚区

戸塚区明るい選挙推進協議会は、明るい選挙の実現と区民の積極的な投票参加を目指し、15人の推進委員と41人の推進員が様々な啓発事業に取り組んでいます。

8月の横浜市長選挙・衆議院総選挙、10月の参議院補欠選挙では戸塚区選挙管理委員会と連携し、戸塚駅等で街頭啓発『ザ・イコット』を実施しました。地域の方々や学生も参加し、区民に積極的な投票参加を呼びかけました。

常時啓発としては、11月3日の戸塚ふれあい区民まつりに参加し、選挙クイズやイコットちゃんとの撮影会を実施しました。また、11月14日には明治学院大学の中谷美穂先生と学生を招き、選挙啓発講演会を開催しました。第一部では中谷先生による講演をしていただき、第二部では学生と参加者の意見交換会を実施し、若者の投票率低下問題について活発な意見交換が行われました。その他、12月12日には子育てで忙しい、投票率が低いといわれるヤングミセスを対象に映画会を開催し、選挙の素朴な疑問集と啓発グッズを配布しました。

今後も推進委員、推進員が力を合わせて、啓発効果の高まる内容を検討し、自主的な啓発活動を実施していきます。

▼ 学生との意見交換会の様子



▲ 衆院選での街頭啓発『ザ・イコット』



▲ 区民まつりでイコットちゃんとパチリ

● 常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
通年	明るい選挙ライブラリー事業	推進員の出身団体における、政治や選挙について意見交換しあう活動に対し、啓発ビデオや冊子等の教育器材を貸し出す。
	『未来の有権者』育成事業	区内中学校を対象に、生徒会選挙等で、より実際に近い選挙を体験してもらうため、投票箱や記載台等、器材の貸出しを行う。
11月	戸塚ふれあい区民まつり	来場者に対して、啓発グッズを配布し、明推協活動の紹介と選挙クイズ、イコットちゃんとの記念撮影を行った。 ☆日時：11月3日 ☆場所：東戸塚小学校
	選挙啓発講演会	明推協運動の意義及び意識の高揚を図るため、推進員及び推進員の出身団体を対象に、講演会及び、学生との意見交換会を実施した。 ☆日時：11月14日 ☆場所：戸塚区役所 ☆講師：明治学院大学 中谷 美穂 先生
12月	とつかイコット映画会事業	来場者に対して、明推協活動の紹介とイコットちゃんとの記念撮影を実施。選挙の素朴な疑問集、啓発物品を配布した。 ☆日時：12月12日 ☆場所：戸塚公会堂 ☆作品：『WALL・E』
6月、9月、12月、3月	明推協通信	推進委員・推進員を対象に明推協の機関誌を発行。年4回。
3月	選挙フォーラム事業	政治や選挙の大切さを体験し、考えてもらうため、豊田中学校の1、2年生を対象にフォーラム事業を行う。 (笑学塾による選挙コントを予定)

● 選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
市長選・衆院選	街頭啓発「ザ・イコット」	買い物客で賑わう大型スーパー前や戸塚駅前など6か所で6回にわたり、啓発ティッシュを配布し、積極的な投票参加を呼びかけた。 ☆日 時：8月20日～8月29日 ☆参加者：6団体65名
	公用車での啓発	業務で使用する公用車に啓発ステッカーを貼るとともに、広報テープを流し、選挙期日の周知と投票参加を呼びかけた。 ☆日 時：8月16日～8月29日 ☆場 所：区内全域
参院補選	街頭啓発「ザ・イコット」	戸塚区明推協を中心に、区民が集まる戸塚駅周辺及び東戸塚駅周辺にて、啓発ティッシュを配布し、積極的な投票参加を呼びかけた。 ☆日 時：10月17日、18日 ☆参加者：53名
	イベントでの啓発	大正地区で行われたレクリエーション大会にて、啓発ティッシュの配布及び投票参加を呼びかける放送を行った。 ☆日 時：10月11日
	公用車での啓発	業務で使用する公用車に啓発ステッカーを貼るとともに、広報テープを流し、選挙期日の周知と投票参加を呼びかけた。 ☆日 時：10月9日～10月24日 ☆場 所：区内全域

各区今年度の事業から

栄区

▼ 栄区民まつり似顔絵コーナー



▲ 明るい選挙推進大会 第2部

さらに、栄区では若年層への啓発事業にも力を入れており、3月には将来の有権者である中学生を対象としたせんきょフォーラムを実施する予定です。

このほか、2月には施設見学会を兼ねた研修会を実施し、政治と選挙について学習するとともに、推進員相互の連携を強めます。

事業計画、事業報告については、いずれも随時イコット通信で推進員へ情報提供を行い、参加意識の高揚を図っています。

栄区明るい選挙推進協議会では、きれいな選挙の実現と、区民の政治意識の高揚、投票総参加を目指して、様々な事業を実施しています。

常時啓発活動として、7月8日に「明るい選挙推進大会」を開催しました。第一部では、栄区明るい選挙推進協議会の平成21年度事業計画の説明等を行い、第二部では、神奈川新聞社報道センター長兼編集総務部長中村卓司氏に「衆院選後の政治情勢」と題して記念講演をしていただきました。現場の情報に接し、推進委員及び議員の意識の高揚を図ることができ、有意義な大会となりました。

また、今年度は8月30日に市長選挙・衆議院議員総選挙、10月25日に参議院議員補欠選挙と続行行われました。栄区では2度にわたり市議会議員補欠選挙が同時に実施されたため、さらなる投票率の向上をめざし、選管委員、推進委員、推進員が一丸となって、選挙時啓発事業「ザ・イコット」を実施し、区民に投票参加の呼びかけを行いました。その結果、高い投票率に貢献することができました。

● 常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
7月8日	明るい選挙推進大会	平成21年度事業計画の説明及び講演会。 講演テーマ「衆院選後の政治情勢」 講師：中村卓司氏 参加者：90人
10月31日	栄区民まつり明るい選挙啓発事業	栄区民まつりに栄区明推協として参加し、来場者に似顔絵を描いてプレゼントすると同時に、啓発物品の配布やクイズ等を行い、区民の政治意識の高揚、棄権防止やきれいな選挙、明るい選挙の実現など選挙啓発活動を実施した。
2月（予定）	推進委員・推進員研修事業	施設見学会を兼ねた研修会を実施し、推進委員・推進員の意識の高揚と明るい選挙推進運動の前進を図る。
3月（予定）	せんきょフォーラム事業	将来の有権者である中学生を対象に講演会を実施し、自分の将来等について考えてもらうことで選挙や政治に対する関心を高める。
年間	投票器材の貸出	区内の学校の生徒会役員等の選挙に際し、投票器材の貸出を行う。
年3回	イコット通信の発行	推進委員・推進員の連携を図るための機関紙を発行。年3回

● 選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
市長選・市議補選・衆院選	街頭啓発「ザ・イコット」	1：実施日 (1)8月23日(日) (2)8月26日(水) 2：場所 本郷台駅前 3：実施内容 ブラカード、ハンドマイク、啓発物品等を使用して、投票参加の呼びかけを実施した。 4：参加者 95名
参院補選・市議補選	街頭啓発「ザ・イコット」	1：実施日 (1)10月17日(土) (2)10月18日(日) 2：場所 本郷台駅前広場 3：実施内容 ブラカード、ハンドマイク、啓発物品等を使用して、投票参加の呼びかけを実施した。 4：参加者 32名

▼ せんぎょフォーラム(上飯田小・20年度)



▲ 泉区Y150記念イベントへの参加

泉区明るい選挙推進協議会では、明るくきれいな選挙の実現と投票参加意識の向上をめざして、将来の有権者である若年層に向けた啓発を含め、さまざまな啓発活動に取り組んでいます。

11月に実施した「泉区横浜開港150周年記念イベント」では、明るい選挙推進協議会の活動を区民にPRするとともに、きれいな選挙の推進や投票参加を呼びかけました。

将来の有権者に向けた啓発事業として、恒例となっている、中学校3年生を対象にした民主主義と選挙のクイズ「あと5年」や投票器材等の貸出し事業に加え、昨年好評だった、小学校6年生を対象に、選挙のレクチャーと模擬投票の体験学習を併せた出前授業「せんぎょスクール」もせんぎょフォーラム事業として今年も引き続き行います。

また、区内で行われるイベント等での啓発物品の配布、明るい選挙講演会の開催など、現在の有権者に向けた啓発活動も実施していきます。

● 常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
11月3日	泉区横浜開港150周年記念イベントへのブース出店	明推協のPRと投票参加の啓発のために選挙啓発パネルを展示し、パネルからクイズを出題。正解者には記念品を配布した。
1月	民主主義と選挙のクイズ「あと5年」	中学校3年生を対象に、社会科副教材「あと5年」を基にしたクイズを出題し、解答する過程を通じて、民主主義と選挙の基礎知識の普及を図る。通算19回目。
1月～2月	せんぎょフォーラム	区内小学校を訪問し、6年生を対象に選挙のレクチャーと模擬投票の体験学習を併せた出前授業「せんぎょスクール」を行う。(8校で実施予定。)
3月	明るい選挙講演会	推進員・区民を対象に、政治や選挙についての講演会を開催する。
年6回	明推協だより	推進委員、推進員向けに事業計画や報告等を掲載した機関紙を発行する。
年間	投票器材の貸出	区内の学校で行われる生徒会選挙等に際して、投票器材を貸し出します。また要望がある場合は職員が出向いて、選挙の進め方を説明する。

● 選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
市長選・衆院選	街頭啓発「ザ・イコット」	立場駅・中田駅・いずみ中央駅・いずみ野駅・緑園都市駅の計5箇所を実施。延べ52名が参加しました。
参院補選	街頭啓発「ザ・イコット」	立場駅・中田駅・いずみ野駅・緑園都市駅の計4箇所を実施。延べ22名が参加しました。



▼ 参院補選での街頭啓発「ザ・イコット」



▲ 明るい選挙こども映画会での模擬投票

瀬谷区明るい選挙推進協議会では、明るくきれいな選挙の実現と区民の投票参加の促進を目指して各種啓発活動を行っています。

常時啓発活動では、若年層向け啓発事業として、区内小中学校等を対象に生徒会選挙のために投票器材の貸出しを実施しています。11月には「明るい選挙こども映画会」を開催し、上映後、好きな動物に投票する模擬投票を行い、親子で選挙への関心を高める機会としました。3月には、区内中学校において「せんきょフォーラム」を開催し、経験豊富な講師の講演を聞くことにより、中学生に選挙を意識する機会としてもらいます。

また、11月の「瀬谷フェスティバル」において、明るい選挙推進協議会のブースを出店し、選挙パネルの展示、選挙クイズの実施など、広く区民へ明るくきれいな選挙の推進及び投票参加についての啓発を行いました。今後は、一般区民を対象とした「選挙啓発講演会」の開催とともに、「推進員研修会」や「明るい選挙推進大会」により推進委員・推進員のさらなる意識高揚を図り、より一層の明るくきれいな選挙の推進に取り組んでいきます。

選挙時啓発活動では、8月の横浜市長選挙・衆議院議員総選挙及び10月の参議院神奈川県選出議員補欠選挙の際に、三ツ境駅、瀬谷駅、商店街等を中心に街頭啓発「ザ・イコット」を実施し、啓発物品を配布しながら投票参加を呼びかけました。

● 常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
11月	瀬谷フェスティバルへの参加	「瀬谷フェスティバル」に明推協ブースを出店し、主に若年層を対象とした啓発活動を実施した。 会場：上瀬谷通信施設はらっぱ
11月	明るい選挙こども映画会の開催	区内の幼児、児童とその保護者を対象に開催し、映画上映後に本物の投票箱を用いた模擬投票を実施した。 上映：ディズニー映画「ウォーリー」 会場：瀬谷公会堂 参加者数：約400人
1月予定	推進員を対象とした研修会の実施	施設見学会を兼ねた研修会を実施し、選挙に関する理解を深め、推進員の交流を図る。
3月予定	せんきょフォーラムの開催	中学生を対象に政治・選挙への関心を高めるための講演会を開催する。
3月予定	明るい選挙推進大会及び選挙啓発講演会の開催	明るくきれいな選挙の推進について推進委員・推進員の意識を高めるとともに、講演会を実施して区民の政治・選挙への理解を深める。
通年	投票器材の貸出し	選挙への理解を深めるため、区内小中学校等に投票箱や記載台等の貸出しを行っている。
通年	イコット通信の発行	推進委員・推進員の機関紙を発行している。 発行回数：年3回

● 選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
市長選・衆院選	街頭啓発「ザ・イコット」	駅頭、商店街ほか各地区で、啓発物品を配布し、投票参加の呼びかけを行った。 活動場所：三ツ境駅、瀬谷駅、区内全域 活動回数：14回 参加人数：326人
	電子掲示板による広報	区役所の電子掲示板で投票日を広報。
参院補選	街頭啓発「ザ・イコット」	駅頭、商店街ほか各地区で、啓発物品を配布し、投票参加の呼びかけを行った。 活動場所：三ツ境駅、瀬谷駅、区内全域 活動回数：13回 参加人数：303人
	電子掲示板による広報	区役所の電子掲示板で投票日を広報。



▲ 瀬谷フェスティバルでの選挙クイズ

横浜市 今年度の事業から

●横浜市明るい選挙推進協議会事業

事業名	内容	備考
研修事業	区明推協委員・推進員を対象とした明るい選挙推進研修会の開催を通じて、推進員の意識高揚を図りました。	リーダー研修会 日時：7月14日(火) 会場：ウィリング横浜
未来の有権者への意識啓発事業	未来の有権者の意識啓発を図るため、小学校、中学校、高校の生徒会役員選挙への支援事業や、学校での出前授業（模擬投・開票）の教材キットを作成しました。	1 生徒会支援物品の作成 2 選挙啓発物の作成
(財)明るい選挙推進協会連携事業及び市・区明推協連携事業	(財)明るい選挙推進協会が主催する事業に参加。また、区明推協の常時啓発でその内容において共催することが望ましい事業を共同で実施し、市民に明るい選挙の推進を訴えます。	1 (財)明るい選挙推進協議会連携事業 (1)各種ブロック研修 2 市・区明推協連携事業 (1)区明推協活動助成等
白バラよこはま (No.40) 発行	市及び区で実施する各種啓発事業紹介、寄附禁止等を掲載した機関誌を作成し、市・区明るい選挙推進大会等で関係者に配布します。	3,300部

●横浜市選挙管理委員会 常時啓発事業

事業名	内容	備考
新有権者ダイレクトメール	新有権者にとって必要な選挙の知識などを掲載し、また、若者の生活様式と感覚に即した情報を盛り込んだ冊子を作成し、新有権者全員にダイレクトメールで送付しました。	発送対象者： 新成人約33,000人 発送時期：12月上旬
成人の日を祝うつどい	「成人の日を祝うつどい」会場内での選挙権の重要性を訴えるメッセージや横断幕を掲出するなどして、新有権者に選挙の重要性や投票総参加を訴えます。	実施：1月11日(月・祝) 会場：横浜アリーナ 対象：約30,000人
生徒への啓発教材配布	市内中学校の3年生全員に、政治や選挙の大切さをわかりやすく説明した社会科副教材「あと5年」を配布します。	実施：4月 中学校に配送 約30,000人
ホームページ等各種メディアを活用した啓発	選挙管理委員会ホームページや、各種メディアを活用し、特に若年層に向けて、選挙や政治の大切さ等をテーマとした情報を発信します。	実施：通年
せんきょフォーラムの実施	有権者が身近な問題について考え、話し合うことで、選挙・政治への関心を高めるきっかけ作りとなる学習講座（フォーラム事業）を各区で実施します。	実施：通年 会場：各区
選挙書道コンクール	きれいな選挙や投票参加を呼びかける標語等を題材とした書道作品の募集及び展示を通して、将来の有権者である青少年を中心に啓発しました。	募集：7月～9月 展示：12月
啓発パネル掲出	きれいな選挙と投票参加を呼びかけるパネルを地下鉄各駅に掲出しています。	地下鉄改札口付近 31駅35枚（通年）
明るい選挙推進大会開催の後援	市・区明推協関係者が一堂に会し、日頃の活動の体験交流や研修を実施し、きれいな選挙と投票参加の推進を確認する推進大会の開催を支援します。	日時：1月21日(木) 開場：横浜文化体育館
明推協自主事業及び組織強化のための補助	市及び各区明るい選挙推進協議会が地域の特性に合わせて実施するイベント等の各種事業及び明るい選挙推進協議会組織強化のための活動に対して補助を行います。	



▲「横浜はたちブック」2010



▲「選挙書道コンクール 金賞受賞作品」(平成21年度)

平成21年
8月30日執行

市長選・市議補選・衆院選 啓発事業実績

昨年8月、横浜市長選挙、市議会議員(青葉区・栄区)補欠選挙、衆議院議員総選挙、最高裁国民審査が行われました。

公示・告示期間中、横浜駅でのデジタルポスター掲出や、広報車による啓発活動、各区独自の街頭啓発「ザ・イコット」等で、積極的な投票参加ときれいな選挙を呼びかけました。また、市内公共機関・駅前・大学等にポスターや看板・横断幕などを掲出しました。

全市の統一デザインは、鮮やかな黄色地に黒色で文字等を入れたインパクトのあるコントラストに、「選挙」を印象付けるデザインとしました。

今回の市長選挙は、68.76%の投票率でした。



デジタルポスター



借上広報車

実施項目		数量	内容
看板・幕・ポスター類	看板・横断幕・懸垂幕	約70枚	横浜駅・関内駅など主要駅、市・区庁舎、歩道橋(みなとみらい動く歩道入口)、大学等に看板・横断幕・懸垂幕を設置
	公営ポスター掲示場を利用した啓発	4,711箇所	選挙運動用ポスター掲示場を活用し、投票日・時間、期日前投票の案内を表示
	ポスターの掲出	約24,000枚	JR横浜駅、市営地下鉄各駅、自治会町内会掲示板、市・区庁舎等公共機関、郵便局、商店街等に掲出
	横浜駅中央通路デジタルポスターの掲載	5か所	横浜駅西口中央通路の改札口前にデジタル画像型のポスターを掲載
	啓発三角柱	18か所	各区役所等の啓発三角柱に啓発シールを掲出
移動型広告	借上広報車	延べ144台	四面看板を搭載した宣伝車による巡回啓発
	バスフロント幕	約2,100枚	バスのフロントに啓発幕を掲出 市営：約1,000台 民営：約1,100台(県選管で実施)
	車体側面シール	約3,500枚	ゴミ収集車、公用車の両側面に啓発ステッカーシールを掲出
	ゴミ収集車	約750台	巡回中に、投票日・期日前投票制度周知の啓発文を放送
	公用車	108台	18区×6台で投票参加の呼びかけを放送
	港務艇	4隻	港湾局所有の船舶に横断幕を掲出
印刷物各世帯	「投票のご案内」同封啓発チラシ	約155万枚	各世帯に発送
	新聞広告	各1回	新聞7紙に半4段の広告を掲載
新聞・放送等	市広報番組	各2回	「Hi! 横浜編集局」(テレビ神奈川)「ヨコハマ・オンリーワン」(ラジオ日本)「ヨコハマ・アラウンド」(FMヨコハマ)
	市区庁舎、商店街等での啓発放送	随時	市・区庁舎、店舗内(横浜駅西口・東口商店街等)などで投票参加の呼びかけを放送
	LED・電光掲示板	随時	<文字型> 文字LEDネットワーク(JR関内駅市役所前、桜木町駅前広場、野毛ちかみち入口、野毛ちかみち、横浜駅東口シーバス乗り場、クイーンズスクエア3F、ぶかり棧橋、ワールドポーターズ1F)、市営バス・地下鉄電光案内板、区役所戸籍課窓口電光掲示板 <映像型> スクリーンネットワーク(桜木町駅前広場、横浜駅北通路、みなとみらい駅改札すぐ、野毛ちかみち、クイーンズスクエア クイーンモール2F)
	文字放送	随時	TVKデジタル放送(データ放送)。
	大学の構内、フェンス等に幕、看板を掲出	市内大学	投票参加を呼びかける幕、看板を掲出
大学のホームページへのPRバナー掲載	大学が管理するホームページに啓発広告を掲載		
選挙ホームページ	選挙案内ページの作成	随時	選挙の情報(投票日、投票所、期日前・不在者投票方法等)を集約したページを作成
	携帯モバイル対応選挙案内ページの作成	随時	選挙の情報(投票日、期日前・不在者投票方法等)を集約したページを作成
イベント	街頭啓発「ザ・イコット」	18区	各区地域などを単位として数人のグループを編成し、区内の主要繁華街、駅頭などでの街頭啓発と、それぞれの場所を起点とした場所を移動しながら投票参加を呼びかける。
啓発物品・資材	ポケットティッシュ	約230,000個	各区街頭啓発等での投票参加の呼びかけに活用
	プラカード	約280本	
	イコットマスコット(卓上用)	約1,600個	区役所、地区センターなど市民利用施設の窓口に設置
	イコットぬいぐるみ(着ぐるみ)	19体	市及び各区に1体
	イコットパンチング人形	37体	市及び各区に2体

平成21年
10月25日執行

参議院議員補欠選挙・市議会議員(栄区)補欠選挙 啓発事業実績

昨年10月、参議院神奈川県選出議員補欠選挙、市議会議員(栄区)補欠選挙が行われました。

告示期間中、横浜駅北口・南口通路でのポスター掲出や、市内公共機関・駅前・大学等にポスターや看板・横断幕などを掲出し、また街頭啓発「ザ・イコット」等で、積極的な投票参加ときれいな選挙を呼びかけました。

全市の統一デザインは、紅葉を散りばめた秋色をベースにし、イコットちゃんの絵柄と共に「投票」参加を促すデザインとしました。今回の参議院議員補欠選挙は、27.78%の投票率でした。

投票日に行けない方は
期日前投票所へ！

大切な1票！
投票しよう！

参議院
神奈川県選出議員
補欠選挙

10・25

市議会議員栄区補欠選挙 (B)

朝7時～夜8時まで

横浜市・区選挙管理委員会
横浜市・区明るい選挙推進協議会




バスフロント幕



市庁舎前カウンタダウンボード

実施項目		数量	内容
看板・幕・ポスター類	看板・横断幕・懸垂幕	約70枚	横浜駅・関内駅など主要駅、市・区庁舎、歩道橋(みなとみらい動く歩道入口)、大学等に看板・横断幕・懸垂幕を設置
	ポスター掲出	約23,000枚	JR横浜駅、市営地下鉄各駅、自治会町内会掲示板、市・区庁舎等公共機関、郵便局、商店街等に掲出
	啓発三角柱	18か所	各区役所等の啓発三角柱に啓発シールを掲出
	公営ポスター掲示場を利用した啓発	4,714箇所	選挙運動用ポスター掲示場を活用し、投票日・時間、期日前投票の案内を表示
移動型広告	バスフロント幕	約1,000枚	バスのフロントに啓発幕を掲出市営 約1,000台
	車体側面シール	約4,100枚	ゴミ収集車、公用車の両側面に啓発ステッカーシールを掲出
	ゴミ収集車	約930台	巡回中に投票日・期日前投票制度周知の啓發文を放送
	公用車	108台	18区×6台で投票参加の呼びかけを放送
	港務艇	4隻	港湾局所有の船舶に横断幕を掲出
印刷物各世帯	「投票のご案内」同封用啓発チラシ	約162万枚	各世帯に発送
	広報よこはま区版	約150万部	各世帯に配布
広報・放送等	市広報番組	各2回	「Hi! 横濱編集局」(テレビ神奈川) 「ヨコハマ・オンリーワン」(ラジオ日本) 「ヨコハマ・アラウンド」(FMヨコハマ)
	市区庁舎、商店街等での啓発放送	随時	市・区庁舎、店舗内(横浜駅西口・東口商店街等)などで投票参加の呼びかけを放送
	LED・電光掲示板	随時	<文字型> 文字LEDネットワーク(JR関内駅市役所前、桜木町駅前広場、野毛ちかみち入口、野毛ちかみち、横浜駅東口シーバス乗り場、クイーンズスクエア3F、ぶかり棧橋、ワールドポーターズ1F)、市営バス・地下鉄電光案内板、区役所戸籍課窓口電光掲示板 <映像型> スクリーンネットワーク(桜木町駅前広場、横浜駅北通路、みなとみらい駅改札すぐ、野毛ちかみち、クイーンズスクエア クイーンモール2F)
	文字放送	随時	TVKデジタル放送(データ放送)
大学での啓発	大学の構内、フェンス等に幕、看板を掲出	市内大学	投票参加を呼びかける幕、看板を掲出
	大学のホームページへのPRバナー掲載		大学が管理するホームページに啓発広告を掲載
選挙ホームページ	選挙案内ページの作成	随時	選挙の情報(投票日、投票所、期日前・不在者投票方法等)を集約したページを作成、投・開票速報を掲載(市議栄区補選)
	モバイル対応選挙案内ページの作成	随時	選挙の情報(投票日、期日前・不在者投票方法等)を集約したページを作成
イベント	街頭啓発「ザ・イコット」	18区	各区地域などを単位として数人のグループを編成し、区内の主要繁華街、駅頭などでの街頭啓発と、それぞれの場所を起点とした場所を移動しながら投票参加を呼びかける。
啓発物品・資材	ポケットティッシュ	約219,000個	各区街頭啓発等での投票参加の呼びかけに活用
	プラカード	約260本	
	イコットマスコット(卓上用)	約1,600個	区役所、地区センターなど市民利用施設の窓口に設置
	イコットぬいぐるみ(着ぐるみ)	19体	市及び各区に1体
イコットパンチング人形	37体	市及び各区に2体	

横浜市 明るい選挙推進リーダー研修会 開催



平成二十一年七月十四日(火)、横浜市福祉保健交流センターウイリング横浜(港南区上大岡)を会場に、「横浜市明るい選挙リーダー研修会」が行われました。

参加者は、各区の明推協推進委員・推進員四十五名。主催者である横浜市明るい選挙

推進協議会会長の小林良彰会長の挨拶に続き、財団法人明るい選挙推進協会作成のDVD「各都市の明るい選挙推進運動について」(横浜市の紹介も含まれています)を視聴した後、中区、金沢区、都筑区の明るい選挙推進協議会の活動報告が行われました。

中区明推協からは「中区明るい選挙推進作文コンクール」の開催について、金沢区明推協からは「大学での啓発」「金沢区選挙マスコット」の紹介、都筑区明推協からは「地区協議会企画活動」などについてお話をいただきました。

各区活動報告のあと、市選管作成DVD「正確・迅速な開票事務」を視聴し、開票事務の流れについて確認しました。

その後、九グループに分かれ、各区選管書記も加わり七十八名が昼食を挟んで約三時間、討議を行いました。

討議には、「明るい選挙推進協議会」の役割・効果的な選挙啓発とは」を共通テーマとして、

- (1) 選挙時の効果的な啓発活動とは?
 - (2) 推進員の手で啓発活動を企画・運営するには?
 - (3) 市長選挙を目指して、若年層をターゲットにした効果的な啓発とは?
- について話し合い、次のような意見が出ました。

(1) 選挙時の効果的な啓発活動とは?

- ・ 通勤時間は駅前、夕方方はスーパーなど、ターゲットを考えて街頭啓発をする。
- ・ 商店街や量販店、大学等とタイアップした投票率向上作戦を展開する。
- ・ 期日前投票のPRをもっと積極的に周知する。
- ・ ティッシュ配りは、直前が効果的。
- ・ ティッシュの啓発内容をもっとシンプルに、一目で選挙とわかるよう「視覚に訴える絵」プラス「インパクトのあるキャッチフレーズ」にすると、効果が高まる。
- ・ マスコットは、子供の興味をひくので非常に有効。
- ・ 駅を通る人は必ずしもその地域の住民とは限らないので、啓発物品は祭りなど地元イベントで配る。
- ・ 季節にあった啓発物品にする。
- ・ ポスターやチラシは、字ばかりの案内ではなく絵のほうが目につく。
- ・ 回覧板は興味ある記事しか読まないが、掲示板は通りすがりの人の目にも入る。
- ・ 推進員各自が近所で選挙に行くよう促し、地元から選挙啓発を広げる。
- ・ 町内会掲示板やテレビ放送等で啓発するのは、知らずに目に入るので効果的。
- ・ 推進員の手で啓発活動を企画・運営するには?

(2) 推進員の手で啓発活動を企画・運営するには?

- ・ 推進員に明推協の活動目的や意義を伝えていくことで推進員の意識向上を図る。
- ・ 行政の側から連合町内会に明推協の活動を今まで以上にアピールをし、地域・町内会などに選挙への意識を向上させる活動をする。
- ・ 推進員のなり手がなく高齢化が進んでいるため、若年層にも推進員になつてもらったほうが良い。
- ・ 明推協の存在は非常に大切であり、明推協の推進員は誇りをもつて活動していくべき。
- ・ 推進員だけで行う活動を増やした方が良い。
- ・ 推進員同士の繋がりが希薄で一人での自主的な活動も難しいので、行政が推進員同士のつながりをサポートする。
- ・ 年に数回しか各地区の推進員が顔をあわせる機会がないので、推進員が集う機会を設けるだけでもだいぶ活動しやすくなる。最初は何をするればよいかわからないので、入門時のガイダンスや研修をする。
- ・ 推進員として名前は挙がり大会等には参加するが、結局、推進員の役割がわからないので、研修が必要。
- ・ 行政からは場の設定や何らかのアドバイスがあれば、推進員も動きやすくなる。
- ・ 将来的には推進委員・推進員が自らで運営を進めていければよい。
- ・ イベントなどの推進員の出席を多く作り、意識を高める。

(3) 市長選挙を目指して、若年層をターゲットにした効果的な啓発とは?

- ・ たすき、ジャンパー等で、明推協という組織をアピールする。
- ・ ボランティア活動にも限度があるので、経費的補助を行政にしてもらいたい。
- ・ 若者に推進員になつてもらう。
- ・ 若者が投票所の職員に使い、本人や知人を介して選挙に関心をもつてもらう。
- ・ 若者に、街頭啓発を担ってもらう。
- ・ 未成年のうちから選挙に対する意識を植え付けることが大切ではないか。
- ・ 小さな子供向けに区民まつりなどのマスコットキャラクターの人気投票を実施する。
- ・ 小学生・中学生・高校生へ選挙啓発の授業を実施し、長期的な育成をすることも大切。
- ・ 親が子どもを選挙に連れて行き実際の投票を見せってもらうなど、家庭での教育も必要。
- ・ 若年層の親世代(40代、50代)にもアプローチする。
- ・ 選挙は重要、選挙に行くことは当たり前という意識を、親が持たなければ子どもにも伝わらない。
- ・ 若年層に向けては、投票すること、政治に参加することの責任を意識させるような啓発が必要。
- ・ 「選挙があれば投票に行く」「選挙に行かないと損である」と実感できるというのは。

その他

- ・ コンビやデパート、駅などの若年層が集まりやすい場所に投票所を設置したり、インターネットの投票システム等、投票所に行かなくても気軽に投票できるインフラ整備が必要。
- ・ 区民まつり、学園祭などは幅広い世代が集まるので、積極的に啓発の場とするのが良い。
- ・ 選挙によってこんな風に世の中が変わったなどの選挙、政治の歴史を伝える。
- ・ 他区の活動状況を聞くと、自分の区でもなにかしていかなくてはと思う。
- ・ 選挙について、選挙が近づいてから啓発をし始めるのではなく、普段から様々な機会を捉えて宣伝をしていく必要がある。
- ・ 普段から様々な機会を捉えて宣伝をしていく必要がある。
- ・ ポスターや作文等のコンクールは、夏休みの課題にするなど好評だったので、若い世代への啓発としてはよいのでは。
- ・ 「明るい選挙推進協議会」の名称が浸透しておらず「明推協」と言えば尚更である。名称の認知度を高める等の工夫が必要では。
- ・ グループ討議の後、各グループ代表者から話し合われた内容について発表していただき、その後「イコトちゃん修了証」が授与されました。

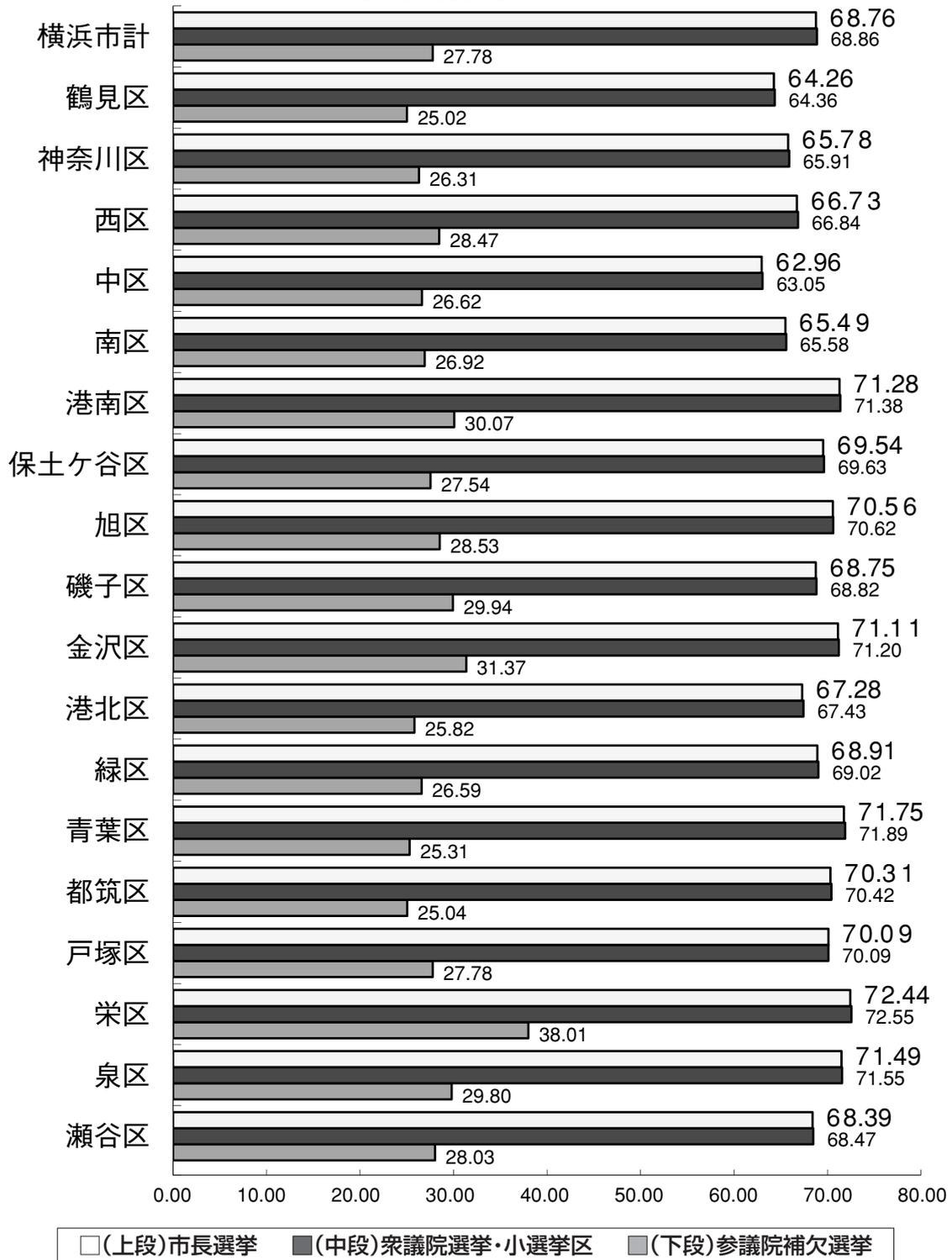
平成21年8月30日執行

横浜市長選挙・衆議院議員総選挙・市議会議員(青葉区・栄区)補欠選挙

平成21年10月25日執行

参議院神奈川県選出議員補欠選挙・市議会議員栄区補欠選挙

<行政区別投票率(%)>



《投票率上位3区》

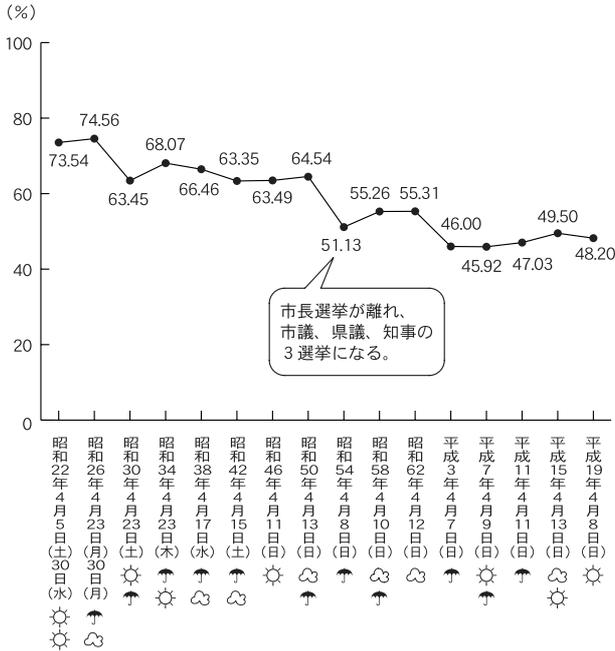
- ・市長選挙： ①栄区(72.44%) ②青葉区(71.75%) ③泉区(71.49%)
- ・衆院選挙： ①栄区(72.55%) ②青葉区(71.89%) ③泉区(71.55%)
- ・参院補欠選挙： ①栄区(38.01%) ②金沢区(31.37%) ③港南区(30.07%)

各選挙における投票率

つぎの4つのグラフは、各選挙における横浜市の投票率のグラフです。
最近低下しつつづけていた投票率が、上向きに転じているものもありますが、
全国的に低下傾向にある投票率は、横浜市も例外ではありません。
今後も明るい選挙の活動を推進していきましょう。

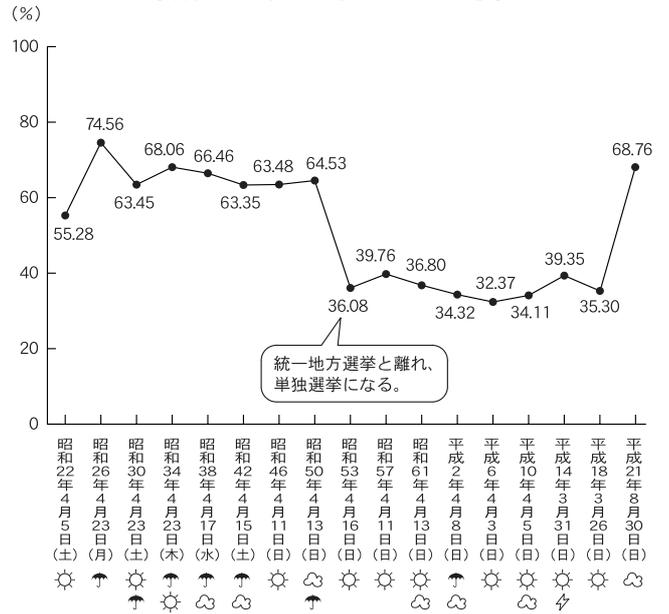
統一地方選挙

(数値は市議会選挙のもの)



市長選挙

(昭和50年まで統一地方選挙)

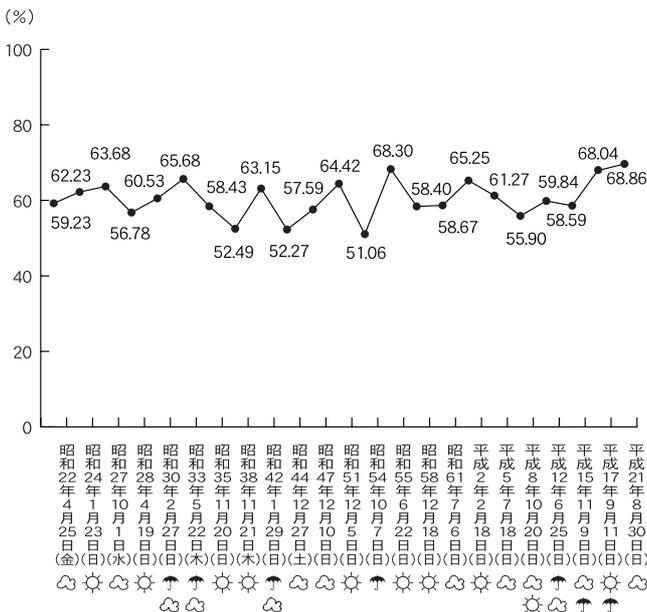


注) 第一回統一地方選挙 市長・県知事選挙
昭和22年4月5日 市議会・市長選挙
4月30日 市議会・県議会選挙

第二回統一地方選挙 市議会・市長選挙
昭和26年4月23日 県議会・県知事選挙
4月30日

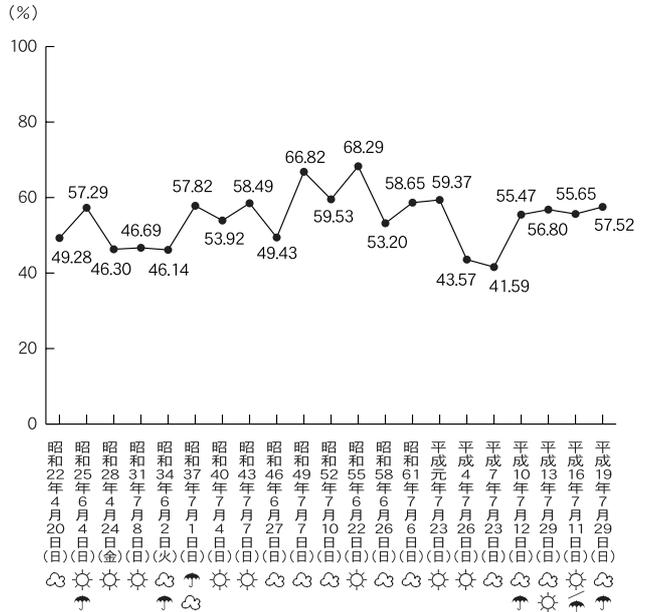
衆議院選挙

(平成8年以降の数値は小選挙区のもの)



参議院選挙

(数値は地方区・選挙区のもの)



横浜市選挙管理委員会では、
若い人に選挙への関心を高めてもらうため、

中・高校生向けの

「U-20 (<http://www.city.yokohama.jp/me/senkan/u20/>)」など

ホームページ上

<http://www.city.yokohama.jp/me/senkan/> で

様々な啓発しています。



また、楽しく選挙に
関心をもってもらえるよう、

携帯ホームページ

(<http://www.city.yokohama.jp/y/sk/>) では

「クイズ!選挙王」を開設し、
楽しみながら選挙を
学べるようにしています。

